

平成15年度春学期 島根県立大学「21世紀・地球講座」開講科目

テーマ：日本はいま、世界はいま～島根のさらなる発展をめざして～

【講座1】誰もが一度は見たり聞いたりしたことのある時事用語解説 現代社会を学習しませんか！！

新聞やテレビで見たり聞いたりしたことはあるんだけど、その中身はよくわからない」という時事用語がありませんでしょうか。この講座では、そのような時事用語を取り上げ、用語解説から出発し、関連する部分に話を広げ、それが皆さんの生活にどのように関わっているか、影響があるかなどについて、わかりやすくお話しします。

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	小林 博	不良債権処理・PFI	不良債権処理の問題については、不良債権処理の意味とその影響、銀行による処理状況、竹中金融再生プログラムの持つ意味等につき説明し、PFIについては、基本的な知識、地方自治体での取組み状況、取組む上で直面するさまざまな課題等につき解説します。	4/16 (水) 18:15～19:45
2	井上 定彦	デフレスパイラル	いま、日本の経済はどの国も経験しなかったデフレ・スパイラル(悪循環)に陥っているという。この延長線上にはどこまでも暗い日本の未来像しか浮かんでこない。小泉内閣はいかなる処方箋を描いているのか、それは実効性があるか。本当に望ましい脱出策とは？	5/14 (水) 18:15～19:45
3	田嶋 義介	小泉構造改革	小泉首相が華々しく掲げた構造改革が自党内の抵抗勢力との妥協で色あせてきている。不良債権処理、郵政事業、高速道路建設、医療制度など多岐にわたる改革路線がなぜ壁にぶちあたったのか。その結果はどんな形でみなさんの生活にふりかかってくるのか。	5/28 (水) 18:15～19:45
4	増田 祐司	e-Japan構想	ブロードバンド環境の促進、モバイル技術の加速度的な進化によってユビキタス環境の実現に向けてのカウントダウンなど、2005年に世界最先端のIT国家をめざすe-Japan戦略の目標の達成に向けてインフラの整備を進めています。これを利用して人々の暮らしやビジネス活動、行政などでの実践的な取り組みを取り上げます。	6/11 (水) 18:15～19:45
5	堀内 好浩	国際標準/ISO	早くから国際競争の荒波にさらされており、高い技術力を誇る日本の製造業は、日本経済復活のカギを握ると期待されています。しかし、その「強い」製造業ですら、潜在的でかなり深刻な弱点をかかえています。その弱点とは「国際規格」あるいはもう少し広い意味での「国際標準」に対する無関心と無関与であります。この「国際標準」について解説します。	6/25 (水) 18:15～19:45
6	今岡 日出紀	自由貿易協定/FTA	1980年代の中頃以降、自由貿易協定(Free Trade Agreement: FTA)が世界のいたるところで締結されてきました。NAFTA(北アメリカ自由貿易協定)、AFTA(ASEAN自由貿易協定)などがそれです。GATT/WTOの多国間貿易システムが存在するなかで、何故このような特定地域自由貿易が出現するようになったか、説明します。	7/9 (水) 18:15～19:45

【講座2】世界からみた日本・日本からみた世界 異文化を理解しませんか！！

その国の地理(人口、民族、気候などを含む)、政治、経済、歴史、文化、宗教、言語等に関して講義します。また、日本人とは異なるその国独自の習慣、マナーなどの異文化を紹介します。

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
7	高橋 睦子	フィンランド共和国(フィンランド語)	講義の前半では、フィンランドの美しい自然を紹介し、森や湖がフィンランドの文化にとってどのような意味を持つのかを解説します。後半では、人々のライフスタイルについて分かりやすく説明し、人口510万人余りの小国であっても生活大國になり得る秘訣を解説します。	4/23 (水) 18:15～19:45
8	堀内 好浩	アメリカはいま、日本はいま	本講座では、企業事情や風土・文化について多角的にお話しします。	5/21(水) 18:15～19:45
9	李 淙煥	大韓民国(韓国語)	高天原の故地は、日本書紀・古事記に登場する、いわば天孫降臨の場です。一昨年12月3日今上天皇が韓国とのゆかりを明らかにしましたが、その内容は、桓武天皇の生母が百済の武寧王の子孫であると続日本書紀に記されているとおりでした。また、天皇の故郷である高天原が最近韓国・慶尚北道の高霊である説が出始めました。この高霊とのゆかりについてお話しします。	6/4 (水) 18:15～19:45
10	ロード バーナード	東洋と西洋の相違点	東洋と西洋は、地理的には遠く離れた存在です。したがって、そこに住む人たちの世界観-人生観や物事のやり方などが大きく異なっていると思われがちではありません。この2つの世界観にみられる興味深い相違点を取り上げて、話を進めます。当然ながら、いずれかの良し悪しなどを議論するものではありません。	6/18 (水) 18:15～19:45
11	陳 仲奇	中華人民共和国(中国語)	中国の民間伝説はたくさんありますが、その流伝地域の広さ、流伝期間の長さから見れば、一番代表的なのはやはり四大民間伝説であろう。話は四つの民間伝説、即ち孟姜女伝説、梁祝故事、牛郎織女の話、白蛇伝を取り上げ、中日文化の比較を念頭に置きながら、中国民間伝説と社会現実の関係や、中国伝統文化の特徴などを検討してみたい。	7/2 (水) 18:15～19:45
12	ワジム シローコフ	ロシア連邦(ロシア語)	ロシア語の簡単な挨拶を紹介します。その後、ロシアの20世紀の世界文明への貢献を議論して、科学の面で宇宙開発、芸術の面でバレエ、スポーツの面でフィギュアスケートの例を取り上げ、その表と裏の面をお話しします。	7/16 (水) 18:15～19:45